

会 議 録

内容承認	公開・ 非公開	＜開催日＞令和元年 10 月 28 日（月）		＜傍聴人数＞ 5 名					
久保会長		＜時 間＞10:00～10:25		＜傍聴室＞					
浦嶋副会長 井上委員		＜場 所＞ 市役所新館 4 階 第 2 委員会室		市役所新館 4 階 第 2 委員会室					
	公開								
＜名称＞ 第 8 回岸和田市立小中学校等規模及び配置適正化審議会									
＜出席者＞ ◇岸和田市立小中学校等規模及び配置適正化審議会委員 （○出席、■欠席）									
井上	今西	浦嶋	城戸	久保	中牟田	野内	藤原(修)	藤原(亨)	松山
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇関係者 花田中学校長会代表、篠本小学校長会代表、寺田幼稚園長会代表									
◇事務局 樋口教育長、藤浪教育総務部長、谷学校教育部長、高井総務課長、 井出学校給食課長、山本学校管理課長、倉垣学校教育課長、 寺内人権教育課長、松本総務課参事、井上総務課参事、 金永総務課主査									
＜議題等＞ 1 開会 2 議題 （1）答申（案）について （2）その他									
＜概要＞ ■開会 事務局から本審議会成立の旨報告 ■議題（1）事務局から説明、質疑及び審議 ■議題（2）事務局からの挨拶									

【久保会長】

まず本会議の署名委員として井上委員を指名いたします。井上委員よろしく願います。昨年の10月13日から本日まで8回にわたり、丁寧な審議をしていただき、事務局においてもアンケート調査をはじめ、詳細な資料を作成いただきました。前回までの会議でほぼ答申案が仕上がりましたので、本日の会議を最終回とし、答申書を完成したいと考えております。

それでは、前回の会議を踏まえ、答申案の修正を加えた個所について、事務局より説明していただきます。

【金永総務課主査】

【資料①】修正箇所について説明。（修正箇所には色塗り）

- ①1 ページ第1章（2）の3行目及び4行目
- ②2 ページ第2章（2）の4行目
- ③8 ページ第4章の上から3行目から4行目
- ④11 ページ第5章の上から3行
- ⑤14 ページ第7章の下から2行
- ⑥15 ページおわりにの7行目

【久保会長】

ありがとうございました。

前回会議からの修正箇所が6点ございましたが、この部分についてご意見やご質問ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それではこちらの答申（案）を、答申書として確定するということでご異議ありませんか。

【各委員】

異議なし。

【久保会長】

ありがとうございます。

私どもの総意がこもった内容が、答申書末尾の「おわりに」に記載されていますので、この部分を読み上げたいと思います。

「おわりに」

教育委員会からの諮問を受け、本審議会では、次の時代を担う岸和田の子どもたちにとって、より良い教育環境とはという視点に立ち、議論を進めてきました。今

回、アンケート調査結果や学校現場の校長先生方のご意見等も踏まえ、小・中学校の適正な学校規模や配置についての基本的な考え方を示すに至りました。

今回の答申において、適正規模の考え方については標準的な目安を示したものであり、適正配置については現時点で考えられる方策を示したものであります。今後の具体的な検討にあたっては、保護者、地域住民、ならびに町会等地域関係組織に丁寧な説明を行い、理解を得たうえで、地域と学校が両輪となって進めていくべきということは言うまでもありません。また、岸和田の将来を担う市民を育てるという観点から、児童生徒の意見を十分に聞く機会を設けることも重要であると考えます。

学校の主役は子どもたちです。子どもたち一人ひとりが社会の変化に対応し、次の時代を担う「生きる力」を育み、望ましい人間形成を図っていくうえで、学校教育の充実と結びつけたこれからの学校づくりはどうあるべきかという視点に立ち、今後の岸和田の小・中学校のより良い教育環境が整備されることを期待します。

先ほど冒頭にも申し上げましたが、皆様方には昨年の10月13日以来、寒い時期も暑い時期もありました。その中で日本ではいろいろな災害も発生し、心が痛むことも随分多かったわけではありますが、そういった時代の中で、これからの岸和田の子どもたちにとって、より良い教育環境をどのようにして作っていくかという視点で、真剣にご議論いただき、本当にありがとうございました。審議会の会長として、つたないところもありましたが、この1年間皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

【浦嶋副会長】

ただいま会長からの読み上げで、「おわりに」の箇所を皆さんと確認いたしました。今後は担当部局において、具体的な方策の検討に移っていくわけですが、是非、この「おわりに」に記載されているように、子ども・学校の視点で検討していただきたいと思います。

行政としては、今後いろいろなプランを練られると思いますが、例えばA校とB校を統合するプランを作る場合、その統合がA校から見てどうなのか、B校から見てどうなのかというように、本答申で示した方策のルールを単に当てはめるのではなく、両校が次のステージに進化していくような、学校側から見た視点で具体案を考えていただけたらと思います。そのためには、本答申でも記載しているように、こんなふうに子どもたちの力を育んいくんだといった、教育内容とあわせて、学校のあり方について議論をいただけたらと思います。

私も当審議会に参加して、皆様の地域、学校に対する愛情を非常に感じさせていただきました。これから検討を進めるにあたっては、該当地域の皆さんの学校への

愛着の内容が、今まであった学校がどうなるのだろうか、今まで聞こえていた運動会の声が聞こえなくなるのではといった哀愁のようなものなのか、或いは、学校施設としての機能、例えば、地域コミュニティとしての拠点や、防災としての拠点がなくなるのではといった心配なのかを見極めていただいて、今後議論を進めるうえで、学校教育だけではなく、社会教育や、地域コミュニティとしての機能が求められているのであれば、関係部局と連携しながら具体案を練っていただきたいと思います。

地域で愛情にあふれて育てている子どもたちのことを念頭に置いた皆様の声を聞かせていただき、本当にありがたく感じました。

どうもありがとうございました

【久保会長】

浦嶋副会長ありがとうございました。

なお、幼稚園長会、小学校長会、中学校長会を代表して出席いただきました、寺田園長、篠本校長、花田校長には、いろんなご助言をいただきありがとうございました。

【井上総務課参事】

長期間にわたるご議論ありがとうございました。答申の確定にあたり、樋口教育長よりご挨拶を申し上げます。

【樋口教育長】

久保会長はじめ委員の皆様には、昨年 10 月から 8 回にわたり、公私ともにご多用の中、学校の適正な大きさや配置について慎重かつ活発に審議していただき、ありがとうございました。

岸和田市の課題を捉えたうえで、皆様の経験と幅広い知見から、長い目で、多面的に、そして本質を大事にしながら議論・審議していただきました。

今後、本審議会の答申を踏まえて、すべての子どもたちに豊かな育ちと確かな学びのため、より良い教育環境づくりをめざして方針を立案したく思います。

皆様には、これからも本市の教育を見守っていただきますとともに、今後のご活躍、ご健勝をお祈りし、簡単ですが、お礼の言葉といたします。

ありがとうございました。

【井上総務課参事】

本日この後、答申書を整理いたしまして、本会議閉会後に久保会長から樋口教育長へ答申書を提出いただく予定になっております。委員の皆様には、確定版の答申書を改めて郵送させていただきます。

【久保会長】

それではこれで第 8 回岸和田市立小中学校等規模及び配置適正化審議会を閉会いたします。皆さまありがとうございました。

本会議録に相違ないことを認め署名する。

会 長

副 会 長

署名委員
